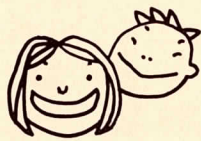


ありがとうございます。

ご寄付ご協力をいただいた方々（敬称略順不同）
※ 2022年6月1日～2022年10月30日 募金箱も含まれます

ヨコハマ・アコフェス実行委員会 アフラック募集代理店(株)川口

柴義彰
(株)ファンケル「もっと何かできるはず基金」
新井通子
アーキテクト・リュクス(株)
神谷コーポレーション(株)
太田隆介
大高麻世
fascinate(株)



アーツリアルエステート(株)/(株)アイネット/青木和雄/
旭日通産(株)/網代和枝/(一社) いいことファーム/井上敬
孝/宇佐美佑/内田清三/(株)エルテックス/大原静香/小川
貴司/奥山千鶴子/落合嘉弘/小野昭典/梶良之/金井宏之/
かながわ教職員組合連合/神奈川県高等学校教職員組合/
(一社)神奈川県バス協会/神奈川トヨタ自動車(株)/金子
理佳子/神谷易廣/川守田和子/北川剛司/北原理絵/北見
浩子/北村克久/京浜電設(株)/(株)コウセイ/後藤政子/小林
理/小山鉄郎/坂井雅幸/(株)シネマとうほく/篠原真紀/柴
田愛子/島田徳隆/清水大樹/昭和建設(株)/新太陽(株)/杉山
慎二/鈴木直子/(株)ダイイチ/(株)ダイイチCSR委員会/
(株)高尚/田村宣子/(特)地域家族しんちゃんハウス/角田
友香/tvkかながわMIRAIストリート実行委員会/寺尾絢
彦/中西新太郎/(特)なまむぎこども食堂/服部定/羽生善
治/原美紀/(特)ピアわらべ/飛田桂/ファミケア(株)/細野
由美子/ホッチポッチミュージックフェスティバル実行
委員会/(株)ポンパドウル/松本洋子/松森繁/三浦潤子/三
浦裕子/武藤啓司/村田尚子/村松志津枝/村松美智子/室
谷千英/山口明/山田不二子/(株)横浜アーティスト/横浜植
木(株)/横浜市教職員組合/横浜たちばなライオンズクラ
ブ/横浜ビジネスサポート(株)/(公財)横浜YMCA/横溝克
明/横山明/吉富多美/(特)ワーカーズ・コレクティブチャ
イルドケア/渡邊正義/他 匿名多数

募金にご協力をお願いします

YAHOO! ネット募金 神奈川子ども未来ファンド
JAPAN で検索してください。
Tポイントを使って1ポイントから寄付できます。



つながる募金

スマホやPCから寄付
ができ、ソフトバン
クスマホの利用料と一緒に継続的な寄付ができます。



いいことシップ で検索してください。不
用品1箱につき、100円が寄付になります。
詳細はHP (https://eco-to-ship.jp) にて



ファンド 人to人をつなぐ

● ピンクシャツデー応援団に参加します

神奈川県議会議員 しきだ 博昭さん



私は、お互いを思いやり、認め
合うことができるよう取り組んで
いる「ピンクシャツデー」の活動
に共感しています。子どもたちが
いじめで悩み、苦しむことなく、
安心して健やかに成長できるよう、
この活動を応援しています。

● ピンクシャツデー応援団に参加します

神奈川ロイヤル株式会社代表取締役 木島 寛さん

当社は「すべての人にやさしい住まい」の実現に向け、
高齢者、障がい者、低額所得者など住ま
いを借りたくても借りられない方の支援
を行っています。お互いの個性を尊重し、
いじめを無くす「ピンクシャツデー」
活動を応援しております。



会 員として子どもの今と未来を支えてください

会 員 種 別	準 会 員	子 ども 応 援 会 員	正 会 員	法 人 会 員
年会費 (1口)	3,000円	5,000円	10,000円	30,000円

正会員(社員)は、別途入会金2,000円が必要です。会員制度の種別は、下記
へお問い合わせいただくかホームページをご参照ください。また、子ども
応援会員、準会員、法人会員の会費は税制優遇の対象となります。

ご寄付をお願いします

子ども・若者や子育てに関わるNPOを通じて子どもたちを支えます

寄 付 金 ・ 会 費 お 振 込 先	
■ ゆうちょ銀行	00230-5-52584 神奈川子ども未来ファンド
■ 横浜銀行関内支店	普通1153803 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

その他の金融機関はこちらをご覧ください。

▶ <https://www.kodomofund.com/request/kifu.html>

★皆様からのご寄付は、最大約50%の税額控除が受けられます。

★会費・ご寄付はインターネットからお支払いいただけます。

▶ <https://kodomofund.com/donation/>

ハンズtoハンズ 第51号 発行：2022年12月1日



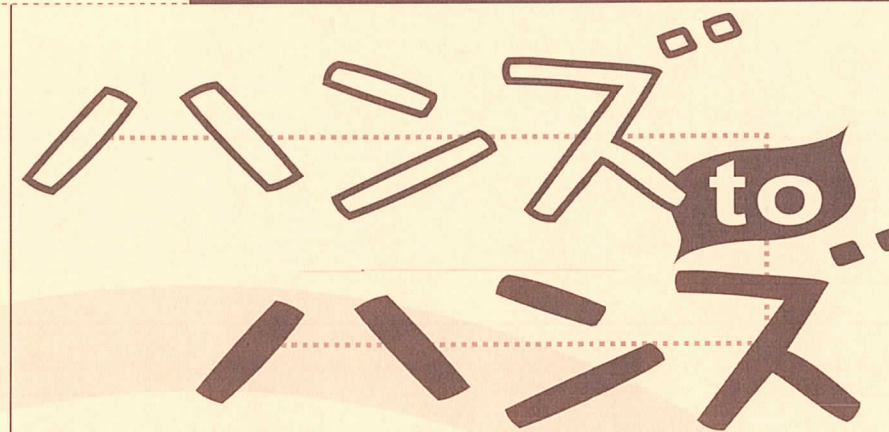
認定NPO法人
神奈川子ども未来ファンド

〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1
横浜ワールドポーターズ6F NPOスクエア 内

TEL&FAX：045-212-5825

e-mail：info@kodomofund.com

URL：https://www.kodomofund.com



認定NPO法人
神奈川子ども未来ファンド

「あなたの思いを、届けます。」

みなさまからの寄付を
神奈川県内の子どもや若者の
生きる力を育むNPO活動へ
届け、活かします

第 51 号

休眠預金等活用法に
基づく資金分配団体
(通常枠)
に採択されました！

知ることから始めよう!!

子ども未来セミナー2022

スタート!!

第1回 11月13日(日) 14:00～15:30

「子どもの貧困」

講 師：重江 良樹氏（映画監督）

ゲスト：西野 博之当団体常任理事
（川崎市子ども夢パーク前所長）

ナビゲーター：吉富 多美当団体副理事長（児童文学作家）

第2回 12月18日(日) 14:00～15:30

「子どもの声に耳を傾ける～ 子どもアドボカシーを知っていますか？」

講 師：大久保 真紀氏（朝日新聞編集委員）

第3回 2023年2月5日(日) 14:00～15:30

「SNSトラブル、ネットいじめ、ゲーム依存 ～おとなの知らない子どもの世界」

講 師：石川 結貴氏（作家/ジャーナリスト）



つながる、広がる子ども支援の輪 「ホッチポッチミュージックフェスティバル2022」



ホッチポッチミュージックフェ
スティバルへ出展。秋晴れの横浜公園は
ダンスや音楽やパフォーマンスがごちゃ
まぜのにぎやかな一日となりました。
子どもファンドのブースでは助成団体
の活動紹介やピンクシャツデー関連
グッズの販売、募金活動を。FMヨコ
ハマDJ光邦さんも立ち寄ってください
ました。エールに感謝です！



思いをつなごう いじめストップ！ ピンクシャツデー2023 in 神奈川

推進委員会がスタートしました

昨年度、県内の不登校の児童・生徒数が
過去最多となり、いじめ認知件数も増加し
ています。誰ひとり取り残さないよう、

2023年2月のピンクシャツデー月間に向けて、行政・企業・団
体・市民等が思いをつないでいきます。事務局は当団体が担い
ます。皆様もぜひ、ワールドアクションにご参加ください。
詳細は<https://www.kodomofund.com/pinkshirtday/>

「バリアフリーフェスタかながわ2022」開催!!

11月5日/そごう横浜9F。バリアフリーの街づくりへの理解を
深めるために障害者等の関係団体や事業者・NPO団体、県民、行政
の協働で開催された「バリアフリーフェスタかながわ」に出展しま
した。(株)ダイイチ様のご厚意でフェス
タ関係者全員がピンクシャツを着用し、
多様性を認め合かながわをアピール
しました。(中央は黒岩知事)



モトスミ・プレーメン通り商店街 第16回フライマルクトチャリティバザーに出店

商店街の皆様のご協力により、たくさんの献
品と募金をいただきました。大切にお預りし、
子ども支援につ
なげていきます。
心からの感謝を。



みんなの思い届けたい

助成を必要としている団体を募集します！

2023年度 神奈川子ども未来ファンド助成 応募受付中

2023年度助成総額 **150万円** (1団体あたりの上限30万円)

応募締切 2023年1月25日(水)

神奈川子ども未来ファンドは、神奈川の子育ち・子育てを支えるために生まれた市民基金です。市民・企業・各種団体から寄せられた募金・寄付金をもとに公募し、厳正な選考を経て助成しています。

一般助成

対象 県内で、子ども・若者や子育て支援に関わる人が地域で育ちあう「場」を開いている団体（「場」を週2日以上、1年以上継続して開いていること）

課題助成（いじめ・貧困・児童虐待防止）

…「場」が無くても、応募できます。

対象 県内で行われる「いじめ・貧困・児童虐待防止」を目的とした事業全般

全助成共通

用途の規程 費目に制限なし。人件費や家賃も助成対象（ただし、応募事業に必要な経費であること）

期間 最長3年までの継続助成が可能（原則単年度。継続は、報告と応募を年度ごとに行い、長期的視点と計画性が認められた場合）

2022年度助成団体 活動紹介

ご寄付をお届けしている助成団体から、メッセージ紹介

1 事業名 2 助成金額 3 応募事業概要 4 団体からのメッセージ

一般助成

生き×居きコミュニティ

1 就労の悩み・モヤモヤ座談会 2 83,300円
3 職場内の悩みやモヤモヤを気軽に無理なく話せる座談会を開催する事業

4 生き×居きコミュニティでは青少年・若者を対象とした学校・会社・家庭以外で気軽に参加できる居場所・サードスペースを運営しています。「就労・悩み・モヤモヤ座談会」は今年度より助成頂きスタートした事業で、働く前の世代から現役世代でもある

青少年・若者が働く事への不安やモヤモヤをざっくばらんに話せる場として開催しています。就労の悩みから直接関係ないモヤモヤ、就労以外の生きがいの場等の話題が出てきています。



一般助成

NPO法人街の家族

1 街の家族子育て応援プロジェクトステージ3乳幼児一時預かり保育事業「まんまるー」 2 180,000円 3 親子の集いの広場を利用した一時預かりと妊娠期の親向けイベントの開催

4 日頃より、ご支援いただきありがとうございます。私達は、空き家を活用して多世代交流を軸にしたコミュニティハウスを運営しています。昨年度、地域の有志メンバーで乳幼児一時預かり保育を立ち上げました。一時預かりを必要としている子育て世帯に私達の情報が届くように、また親子向け企画を盛り上げるために、本助成金を大いに活用させていただいております。より多くの子育て世帯が楽しく子育てできるよう、地域で一つになってサポートしていきたいと考えています。



お問合せ・
応募書類
送付先

事前相談可。電話かメールでご連絡ください。
認定NPO法人神奈川子ども未来ファンド 事務局

〒231-0001

横浜市中区新港2-2-1横浜ワールドポーターズ6F NPOスクエア

TEL&FAX 045-212-5825

E-mail info@kodomofund.com

応募に関する書類は、HPからダウンロードできます

▶ <https://www.kodomofund.com>



一般助成

NPO法人ここだね

1 無料相談・無料学習支援事業 2 200,000円
3 フリースクール終了後の時間と場所を使い無料の相談と学習支援を行う事業

4 「ここだね」は神奈川県逗子市に拠点を置くフリースクールです。今の学校が合わない等、生きづらさを感じている子どもたちや、子育てや暮らしに困難を抱えている保護者の方たちが、この助成での無料相談・無料学習支援を利用しています。

教育や福祉の枠組みから漏れてしまう家庭にとって、学校や役所以外の民間団体の支援を無料で利用できることは、とても意義のあることで、子どもとその保護者の権利を護る助成となっています。



一般助成

常設子育てサロンちっちゃなて

1 子育てサロンの運営 2 200,000円
3 週3回の子育てサロンを安心して安定的に運営する事業

4 秦野市の鶴巻地区に拠点を置く、常設子育てサロンの「ちっちゃなて」です。秦野市と伊勢原市と平塚市の三つの市境にまたがる地域柄、今年度は市境を越境して来られる方も増えました。通常のサロン活動のほかに、三か月ごとの市職員の保健師による「出張育児相談室」、ほぼ隔月ごとの「多世代交流イベント」、各月ごとの「今日のお話なあに?」や「ミニミニ講座」などを開いていて、利用者である親子さんに向けて楽しいコンテンツを提供しています。



一般助成

NPO法人こどもの広場もみの木

1 「こども広場」を核にした地域における子育てピアサポートコミュニティづくり 2 200,000円 3 森のようちえんの子どもたちのコミュニティ「こども広場」での研修等の実施事業

4 もみの木園は戸塚区や栄区の里山をフィールドに、2歳から6歳の異年齢のこどもたちが同じ時を楽しみ、一緒に育ち合う青空保育の幼稚園です。自然の中で自由に遊ぶこどもたちは、一人一人がやりたいことを見つけ、仲間と響き合って思いが膨らみ、笑い声が響きわたります。遊びが今日をつくり、そして明日へと繋がっていきます。2022年春からは月に一回、地域に暮らす小さい子を園にお招きして遊びの時間をともにしています。



課題助成

NPO法人BONDプロジェクト

1 bond Project-10代20代の女の子のための相談室- 2 200,000円 3 10代20代女性の相談者向けのカフェ型相談室を開設する事業

4 10代20代の生きづらさを抱える女の子の支援として、横浜で相談室を開いています。コロナ禍では感染防止対策のため予約を徹底しておりましたが、コロナも落ち着き始めたので、机や椅子の数も増やし、もう少し気楽に女の子たちに

来てもらえるような場所にしていきます。そうした体制を整えるためにいただいた助成金を使わせていただきました。ご支援くださりありがとうございます。



課題助成

NPO法人ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア

1 家庭訪問型子育て支援ホームスタート 2 130,000円 3 未就学児がいる家庭を対象に家庭訪問型子育て支援を実施する事業

4 ホームスタートに関わる活動を始め4年になります。これまで地元大和市の他、横浜市・川崎市・伊勢原市・厚木市・愛川町の子育て家庭からの訪問依頼も継続的にあり、子育て支援に市境はないと実感していますが、遠距離の訪問は交通費がかかります。助成金をいただいたことで、依頼があった市外

へも交通費を気にせず訪問支援ができるようになりました。これからも神奈川県内どこでもSOSが来たら訪問したいと考えています。

